



西幼だより

第3号

令和6年5月30日
新潟市立西幼稚園

【教育目標】
しなやかに
たくましく



(西幼稚園 HP)

ブログも見てね!

子どもたちの小さなステップ

園長 渡邊 舞

年少組5名、年長組2名、計7名の西幼稚園のお友達は毎日、それぞれのクラスで、また、異年齢での関わりの中で、様々な発見をし、一緒に関わることでさらに新たな気づきをしながら過ごしています。そこで、「おもしろい!」と目を輝かせている瞬間がたくさんあります。そして、その「おもしろい!」と感じたことが次の経験へと続いていることを実感する毎日です。

畑でのこと。畝づくりの前に年長さんが土をほぐしていたときに年少さんも来ました。(厳密にはそれぞれの担当が、外に出るタイミングを合わせています。)土をほぐしているうちに、年長さんが丸いスコップに土をぎゅっとつめ、ひっくり返しました。するとそばにいた年少さんはじっと見つめる姿がありました。「おもしろそう」「やってみよう」…きっと心動かされたのでしょう。年少さんは早速、同じように試す姿がありました。このときは、砂がさらさらだったこともあり、つぶれた形のものができていました。それでもこのとき、型抜きのおもしろさを発見した日になったようです。後日、年少さんのお友達は、砂場でこの日の「ワクワク」を思い出し、砂場できれいなプリン型の型抜きを成功させるのでした。今度は手でぎゅっと固めて、砂を固めるコツを得たようでした。



年長さんは自分たちで見つけた丸いものを型にして、こいのぼりの目を作りました。身近な道具が型になることや同じものが何枚も作れるという発見がありました。このとき、きっと「おもしろい!」とワクワクしたに違いありません。早速、目を作った経験から、うろこを作る際に、自主的に自分で考えた形の型を作り、活用していました。この後、なべのふたが必要になる場面があると、鍋の大きさに合った丸い形のものを探し、それを型にして、ぴったりサイズのふたを段ボールで作っていました。遊びの中で、型をとる、という一つの経験が様々な場面で応用されていくのでした。

子どもたちが「おもしろい!」と感じ、様々なことに心を動かす中で「うまくいかないなあ」「今度はこうしてみようかな」「あのときのやり方を試してみようかな」など思考を伴いながら、遊んでいます。「うまくいかないなあからやめた」と諦めず、粘り強く、その興味をもったものにじっくりとワクワクしながら主体的にかかわるその過程に、学びがあります。砂で型抜きする遊びの中で、型抜きのコツを得ると同時に砂の性質やいろいろな道具の特徴なども学んでいます。また、丸い形の型を使う技法が様々な形や素材でも応用できることを学んでいます。

子どもたちが主体的にもの、人、ことに関わる姿を、結果重視ではなく、その過程をよく見つめてみると、一見見えにくい子どもたちの小さな成長や学び=小さなステップがあります。その『小さなステップ』はやがて、予測困難なこれからの社会を生き抜く子どもたちの大事な力になると心し、今日も子どもたちの「おもしろい!」に共感し、全職員で成長を支えていきます。